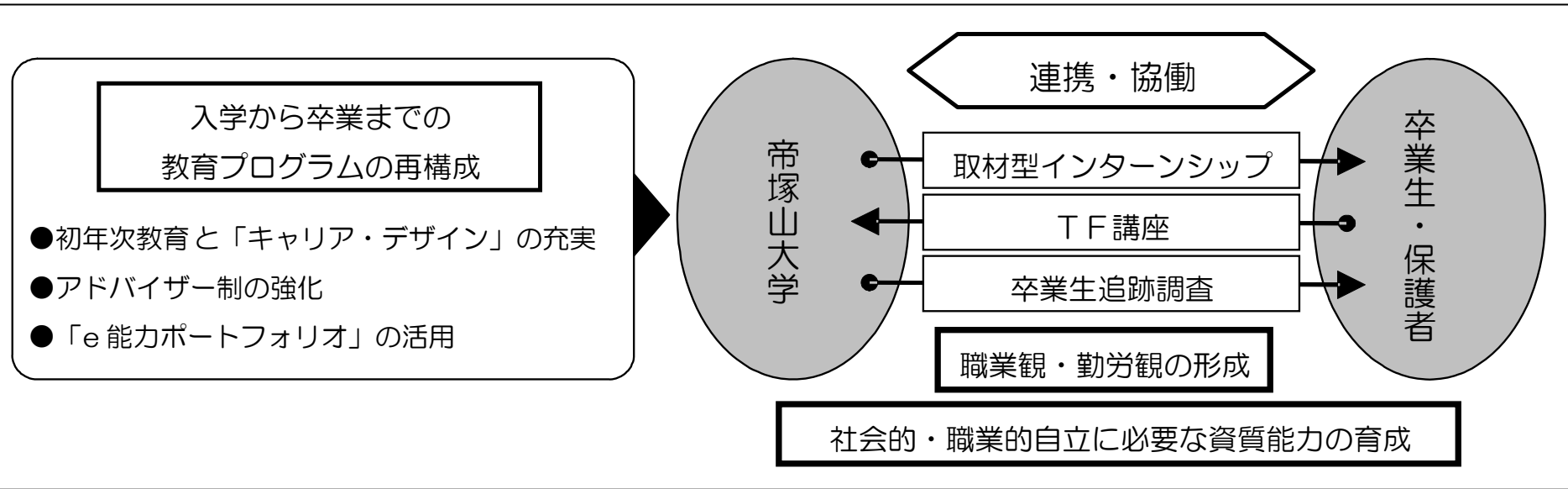


帝塚山大学

取組名称: 卒業生・保護者と大学の協働型キャリア支援

【取組概要】

本取組は、多様な業種・職種に就く卒業生・保護者を貴重な教育資源としてとらえ、卒業生・保護者と大学の連携・協働を通して、学生の就業力を育成する協働型キャリア支援の取組です。本取組の内容は、(1)入学から卒業までの(初年次教育からはじまる学士課程教育全体の)教育プログラムの再構成、(2)卒業生・保護者との連携・協働による持続的な就業力の育成、の大きく2つに分かれます。持続的な就業力は、職業観・勤労観の形成を基盤とした、社会的・職業的自立に必要な資質能力からなります。大学教育を通して獲得された成果(知識・技能・態度・志向)は、就業力に反映されると考えられます。したがって、本取組では、就業力の育成に資するものとして、入学から卒業までの教育プログラムの再構成を推進します。



【達成目標】

- 平成22年度から平成24年度にかけて、**就職内定率を10%向上**(平成21年度比)させ、**無業者率5%減少**(平成21年度比)をめざします。
- 平成25年度以降は、(a)の水準を保持・向上させることをめざします。
- 各種インターンシップの受入企業・団体から学生への総合評価で、**平均3.00以上の肯定的評価**(4段階評価)を得ることをめざします(平成23年度以降)。
- 各種インターンシップに参加した学生の自己評価で、職業観・勤労観の形成や資質・能力の育成に関して、**平均3.00以上の肯定的評価**(4段階評価)を得ることをめざします(平成23年度以降)。
- 卒業生に対する追跡調査の結果から、**就職3年後の離職率20%以下**をめざします(平成23年度以降)。

【成果】

教育プログラムの再構成、学生の持続的な就業力の育成により、就職内定率が向上し、無業者率が減少する。